

ちょうしづか新聞 第29号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日:2005年1月29日(土曜日) 発行:山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

銚子塚古墳で新発見相次ぐ part4 - 第10号トレンチは情報いっぱいだー！！

今回は第10号トレンチの調査で得られた古墳築造から墳丘崩落までの「プロセス(順番)」に関わる新知見をご紹介します！地味な知見ですが、実は大変な「発見」につながる可能性のあることなんですよ。

10号トレンチの土層断面と「木柱」の出土状況

写真右手が墳丘(古墳の丘の部分)です

写真左手が周溝(古墳のまわりの堀)です



発掘調査では「何が出てきたか？」も大事ではあるけれど、「どういう状態で出てきたのか」を観察・記録する方がもっと大事なんだ。

どのように出てきたのかを調べるには土層と出てきたモノの関係をしっかり観察することが必要なんだ。

「木柱」の周辺の土層堆積は左の写真のようになってるよ。このような土層と出てきたモノの関係を良く観察すると...古墳築造から墳丘(葺き石)崩落への「プロセス(順)」が推測できるようになるよ。

このような土層観察ができたのも、作業員の皆さんが大変な苦勞をして壁面清掃や水抜きをしてくれたおかげなんだ。泥と水と戦った成果なんだ！



第10層から出土したヘラ状木製品



第9層から出土した木製品(樹物)

層によって出土するモノ(木製品)の感じが違うんだ！これは大事なポイントだよ！上層(9層)からは「おまつり道具」、下層(10層)からは「掘削道具」って感じがしてるんだけど、これはもっと良く調べてみないと結論は出せないことだけだね。

ちょっと難しいけど、「木柱」「木製樹物(木の墳輪)」「その他の木製品」の出土層位関係を少しだけ

土層断面の観察や出土品がどの土に含まれていたかなどを調べていくと次のような「順番」が考えられるよ！

あくまでも調査途中での「推論」ですけれど.....ご意見・ご感想お待ちしております！

第1段階 墳丘・周溝の造成 = 周溝・墳丘の裾は地山層を掘りこんで造成されている

第2段階 「木柱」を立てるための土坑(pit)が墳丘端部の平坦面に掘りこまれる

第3段階 直径20cm、長さ90cm以上の「木柱」が立てられる

「木杭」の約9割は地中埋設されているので、もとは長さ数メートルの「木柱」だったかも。

第4段階 周溝が埋まり始める = 第一次堆積土(第10層)が堆積する = ヘラ状木製品などが一緒に埋まる

第5段階 周溝の第一次堆積土(第10層)上に「木製樹物(円盤・棒状製品)」が廃棄・遺棄され、第9層として堆積する

但し、「木製樹物」がいつ使用されたものかは不明(第1段階～第5段階の間ではあるが...)

「木柱」と「木製樹物」が同時共存した可能性も否めない

また、「木製樹物」が廃棄・遺棄されたのか、墳丘から崩落したものは定かでない

第6段階 墳丘から葺き石を大量に含む土(第8層)が崩落し、第9層を押しつぶすように堆積する

木製樹物(円盤・棒状木製品など)は葺き石崩れ層の下から出てくる。

第7段階 墳丘からの流出土である可能性のある第5～7層がさらに堆積する

〔連絡先〕山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)

〒400 1508 山梨県東八代郡中道町下首根923 電話055 266 3016 ファックス055 266 3882

e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

この「ちょうしづか新聞」は山梨県埋蔵文化財センターのホームページでフルカラー版を公開中です。

今まで発行したバックナンバーもすべて閲覧できますので、一度アクセスしてみてください。

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.htm>